

～「ここすき」学びの記録～ 笑顔は、笑顔を咲かせる。

* Eさんの写真には、穏やかに友だちと一緒にいる場面が多く写っています。
Eさんがもつこの「相手のやさしさを引き出す力」の源はどこにあるのでしょうか？

1) Fさんと順番に車を走らせるEさん



2) Gさんと順番にカードを入れるEさん



3) 窓越しに出会い、微笑むEさんとHさん



4) 人に向かう時、笑顔になるEさん



5) モノを指さして相手の顔を見るEさん



6) 涙が出たIさんをなでてあげるEさん



1～2歳児は「自分」を大きく伸ばしていく時期です。
そのため、複数の子どもが同じモノに向き合うときには、それぞれの子どもの「自分の！」という気持ちがぶつかり合い、取り合いが起ってしまう場合があります。

しかし、Eさんの写真を見ると、不思議なことに、穏やかに友だちと一緒にいる場面が多くあります。
Eさんがもつ、この「相手のやさしさを引き出す力」の秘密はどこにあるのでしょうか？

写真を見て気づいたのは、Eさんは人に向かうとき、笑顔になるということ。
ひとつ咲いた笑顔は、次々に他の笑顔を咲かせ、そこに「やさしい場」が生まれます。

また、モノに触れる前後に相手の顔をよく見ているということ。
顔は「感情の窓」ですから、顔をよく見るのは、相手の感情に敏感であるということです。

そして、相手の感情に敏感なEさんですから、相手が悲しそうにしている時には、自分の行動を変化させて、相手を笑顔にしようとする、そういう行動が発達しやすいのだと考えられます。

笑顔は、世界を信じているときに咲きます。
私たちはつい、子どもに「あれもこれも」と多くを望んでしまいがちですが、でも、私たちがこの生まれてきて3年にも満たない子どもたちに育てたいのは、この世界が安心できる場所であり、あなたが生まれてきてくれたこと、そして、さまざまなことに挑戦しながら育っていかうとしていることを、みんながあなたがいまざしで見守っているよ、そのことを信じて、毎日幸せに生きられる心なのではないでしょうか。